

杉並支部レター

THE OBJECTIVES OF TCCI, WITH BRANCHES ESTABLISHED IN EACH OF THE 23 WARDS OF TOKYO, ARE TO FOSTER THE OVERALL IMPROVEMENT AND DEVELOPMENT OF COMMERCE AND INDUSTRY AND TO CONTRIBUTE TO THE WELFARE OF THE COMMUNITY.

No. 20



特集
和田堀ブロック

表紙写真：和田堀公園



【和田堀公園】

蛇行する善福寺川に沿う形で広がる都立公園。周辺一帯は、杉並区内で最も緑が多い地域で、白山前橋から上流には善福寺川緑地が接する。面積約20万㎡の広大な公園内には、陸上競技場、野球場、テニスコート、サイクリング広場、バーベキュー広場などが点在している。また、全域が東京都の防災公園に指定され、応急給水槽、災害対応トイレ、かまどベンチなどが設置されている。大型ヘリコプターの離着陸も可能だ。和田堀池(写真上)は、深い緑に囲まれた静かな雰囲気。運が良ければ、都心には珍しいカワセミなど野鳥の姿を見ることができ、桜の時期は、花見客で大いに賑わう。

SUGINAMI AREA MAP



ブロック長に聞く

〔和田堀ブロック長〕

渡邊 安雄 氏 (イゲタ安 渡邊建設株式会社 代表取締役)



和田堀ブロック

和田堀ブロックとは、和田・方南・堀内・松ノ木・成田東・成田西・大宮の各町を指す。会員数は、約300(杉並支部の会員数は約2500)。分科会別では、商業が約34%、サービス・情報産業が約26%、建設が約25%、工業が約8%を占める。所属する役員・評議員は、22人。和田堀は、杉並区の南東に位置し、中野区・渋谷区と接する住宅地であり、商店街は主な通り沿いに散在する。南北に移動する場合のバス等公共交通機関は十分とはいえ、南北交通の改善が課題。

杉並きっての住宅都市として、暮らしやすい基盤整備を

一和田堀地区の特徴は？

ブロック最大の特徴は、都内有数の住宅地域ともいえる杉並区の中でも、さらに住宅がメインの地域であること。JR線も走っておらず、大きな駅やショッピングセンター、地域を象徴する大規模イベントもありません。裏を返せば、これが他のブロックとは違う特色。住宅、緑地が多いからこそ、過ごしやすい住環境を守り、整えていきたいと思えます。

一より良い地域にするための、今後の目標について

和田堀でも住民の高齢化は進んでおり、デイケアの施設や車も目立ってきています。要介護者への政策や施設の充実とともに、まだ介護を受ける必要のない元気な70、80代の方々のためにできることも考えていきたい。交通アクセスがあまり良くないことが、この地域の長年の課題なので、元気なお年寄りが自らの足で外へ出かけようという気持ちを後押しできるような、便利な交通網を作れたらと思います。道交法など様々な制限があり難しい問題もありますが、コミュニティバスの配備など、特に南北の交通アクセスを良くするためのアプローチは今後も続けていきたいですね。

また、杉並区内のイベントにはできるだけ足を運ぶようにしています。西荻窪の雑祭りや、高円寺の大道芸など、同じブロック長という立場で頑張っている人たちを応援したいし、参加することで杉並区全体の地域振興にもつなげたい。近隣地域との絆も大切にしたいですね。

杉並支部の
事業より

名寄への視察会実施



加藤名寄市長(左から4人目)と風連庁舎前で

当商工会議所杉並支部(宇田川紀通会長)は、6月14日～16日の3日間、北海道名寄市への視察会を2007年以来6年ぶりに実施、宇田川会長をはじめとする役員・会員等16人が参加した。初日は、加藤剛士・名寄市長を表敬訪問したほか、木賀義晴・名寄商工会議所会頭、堀江英一・風連商工会会長ら地元経済人と昼食を取りながら懇談し、今後の交流継続を申し合わせた。2日目は、名寄商工会議所・風連商工会の役員との交流・懇親ゴルフ組と富良野・美瑛地区への観光組に分かれて行動。最終日は、名寄市風連町の望湖台自然公園で開かれた「第34回ふうれん白樺まつり」に、田中良区長、大泉時男区議会議長、高円寺阿波おどり訪問団ら杉並区の関係者とともに参加、バーベキューやゲストを対象とした餅まきなどを楽しんだ。



東京商工会議所入会のご案内

～会員として東京商工会議所にご加入いただくと、様々なメリットがございます！～

経営支援活動

経営の改善と新たな成長に向けて取り組む企業の挑戦を力強くバックアップします。

資金のご案内

★**経営改善資金(マル経融資)**：マル経融資(小規模事業者経営改善資金)は小規模事業者の方々の経営をバックアップするために無担保・無保証人で商工会議所の推薦にもとづき融資される国(日本政策金融公庫)の融資制度です。

★**東京商工会議所メンバービジネスローン**：東京商工会議所と協力金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の提携により、通常より優遇された条件で融資が受けられる東商会員ならではのメリットです。

経営のご相談

専門家が無料でご相談にお応じます。

★**法律相談・税務相談**：経営上、お困りの方はお気軽にご相談ください。弁護士・税理士がお答えいたします。

★**エキスパートバンク**：小規模事業者の皆さまからのご要望に応じて、東京商工会議所に登録されたエキスパート(専門家)を直接事業所に派遣し、具体的・実践的なアドバイスによって問題の解決に役立てていただくものです。

政策提言

要望活動

経営環境の改善と活力のある経済社会の実現に向けて会員企業の皆さまの声を政治・行政に反映させます。

地域振興活動

産業振興・地域活性化に向けて会員企業の皆さまと地域社会の取り組みを推進いたします。

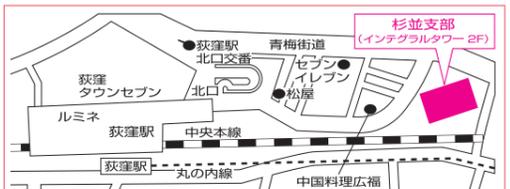
【杉並支部】今後の事業予定

【各種経営セミナー】

経営者・従業員の方向けに、各種無料セミナーを開催いたします。◎申込方法等の詳細につきましては、後日FAX、東商イベントカレンダー(<http://event.tokyo-cci.or.jp/>)にてご案内します。

- ① オン・オフにメリハリをつける究極の仕事術
9月6日(金) 14:00～16:00
- ② リーダーのための禅的瞑想法と禅の知恵
9月11日(水) 14:00～16:00
- ③ 事業承継の進め方・対策セミナー
9月20日(金) 14:00～16:00

【会場】区立産業商工会館(阿佐谷南3-2-19) 参加費：無料



東京商工会議所杉並支部 アクセスマップ

和田堀ブロック

警察署の協力と消費者の参加で、より安全に商店街の活性化を！

杉並警察ビル防犯協会を設立



設立総会に参加した発起人・会員ら



設立総会であいさつする杉並警察ビル防犯協会の渡邊安雄会長

昨年10月1日、杉並警察管内に防犯カメラ設置を促進する団体「杉並警察ビル防犯協会」が発足しました。これを受け、協会長の渡邊安雄さんにお話を伺いました。

杉並区内には杉並、高井戸、荻窪と三つの警察署があり、杉並警察署は区の東部が管轄区域に当たります。管内は高円寺、阿佐ヶ谷など商店繁華街、青梅街道や環七沿いの官公庁や企業用地、そして一般住宅地の三

つの生活圏に分類することができ、渡邊さんの会社やお住まいがある和田堀ブロックは、一般住宅地にあたります。商店街や企業での防犯カメラ設置は比較の見られるようになりましたが、同協会では、一般家庭の玄関先への設置も推進。名称は「ビル防犯協会」とありますが、「地域を自分たちで守る」という考えに賛同する区内居住者、区内物件保有者であれば、建物の区分は不問です。防犯カメラ

の敷設により、自身の建物周辺の安全はもちろん、犯人の逃走経路を把握する手掛かりにもつながるため、地域全体の犯罪防止にも重要な役割を果たします。現在の会員数は62。今後も会員増強を目指し（当面の目標100）、防犯カメラの有用性を啓発するビデオ講習などを通じた勉強会を計画中です。「この地域は防犯カメラ設置率が高い」と認知されるだけでも、十分な犯罪抑止力になる。10年、20年後には、防犯カメラだらけだとは行政、警察、区民が三位一体となって自分たちの町を守って行こうという自己防衛意識が何より大切だと思っています。」

現在は、基本的には自費での設置を進めますが、今後、協会の規模拡大に伴い助成金の可能性も探るとか。もちろん目標はそこではありませんが、それだけ大きな団体に成長し、高井戸・荻窪両警察のビル防犯協力会とも協働しながら、長期存続を目指したいと、最後に力強く語ってくださいました。

杉並区の高円寺

音楽と無線で気分転換

普段は阿佐ヶ谷や高円寺の商店街によく出向き、お子さんと食事を楽しむこともあるという井立田さん。お祖父様、お父様、叔父様と代々続く会社の4代目を継がれています。が、子供のころの夢はF-15のパイロット。今でも戦闘機の無線を聞くのが好きなのだとか。

また、亡きお父様の影響からクラシック鑑賞も趣味のひとつ。無線機とオーディオに囲まれた自室は、思う存分「自身の世界に没れる空間です。安全はすべてに優先を社訓に、社風は穏やか。離職率も低いので今では高齢の従業員も多く、社内の野球部では60代のピッチャーが元気に投げていると笑います。おらかな井立田さんのお人柄による気風とお見受けしました。



新日本交通株式会社 代表取締役 井立田 昌顕 氏



松島興業株式会社 代表取締役 松島 敏之 氏

自宅敷地に福祉施設を

創業時は公共工事を主とした土木業が中心だった同社ですが、時代とともに分社化し、現在は建築工事業中心へとシフト。地元密着の民間の仕事が増え、お客様の喜ぶ顔が直接見える今の仕事のほうが自分には合っているかな、と松島さんは語ります。

また、このほど、広大な面積を誇る生家敷地の南側に、地域初のグループホームを建設。亡きお母様の希望を叶えた形となり、新たな地域貢献を果たされました。建設に伴い、古くから敷地内にあった稲荷神を移動する必要があったため、大宮八幡から宮司を招き大掛かりな遷座を敢行したのだとか。代々、松島家を護ってきたお稲荷さんは、今も敷地内で場所を移し厳かに鎮座しているそうです。

地歴散策

「大宮八幡宮」

子育て、厄除けの八幡様として古くから信仰を集めてきた大宮八幡宮。創建は、1063（康平6）年、奥州を平定した源頼義が京都の石清水八幡宮から分霊を勧請したのが起源といわれ、今年が鎮座950年に当たります。主祭神は、応神天皇。父君の仲哀天皇、母君の神功皇后との固い絆から「子育ての神様」とされ、また、厄除けの信仰は、この地に八条の白雲がたなびく瑞祥が現れ、頼義を勝利に導いたという故事に由来します。

かつては、その広大な神域の故に「大宮」という地名が付けられたという境内は、現在も約1万5千坪を有する、緑豊かな鎮守の杜として親しまれています。参道のツツジを過ぎて荘厳な神門をくぐると、総檜造りの本殿（1965年造営）が鎮座します。本殿の周囲には、境内社の若宮八幡神社、大宮天満宮などが控え、まさに聖域と呼ぶに相応しいたたずまいです。



大宮八幡宮

子育て世代と街づくり 和田商店会

東高円寺駅から600mほど歩くと見える和田商店会。昔ながらの雰囲気を残す小さな商店街が、2010年より「親子で街デビュープロジェクト」を立ち上げ、新たな地域振興モデルを創造中です。

同プロジェクトの狙いは、これまで商店街とはあまり縁のなかつた子育て中の若い母親層を街づくりに取り込むこと。メンバーは1歳未満の子供を持つ母親が中心で、「消費者参加型の商店街活性化」という新しい取り組みは、区をはじめ各方面で評価されています。「親子で街デビューツアー」では、実際に商店街を歩きながら店舗を見学。商品知識や製造工程を知ることによって、店の新たな価値を見出せることも、



親子で街デビューツアー



親子で街デビュー

店側にとっては宣伝効果も大。今まで交わることのなかつた両者が融合する好機となっています。また、プロジェクトの一環で発行する地域新聞「わだち」は、専門家による文章講座を経た読みこたえある内容で、母親目線の情報発信が新鮮。その他、商店会との共作によるホームページの展開や、相撲取りを招いたミニイベントの開催など、多方面で「消費者と商店会の協働」を図っています。

地域の高齢化が進むにつれ、先ずお年寄りへのアクションを考えるところを、逆転の発想で若年層と手を組んだ同プロジェクト。見事に功を奏し、街全体の活性化につながっています。



どすこい祭り（もちつき）

PICK UP in 杉並

有限会社四国堂（オフィス用品・文具販売）

代表取締役 井上一郎 松ノ木2-15-8 電話:3311-6040 <http://www.shikokudo.co.jp> 松ノ木八幡通り商店会にある文具店。文具販売のほか、印鑑、名刺作成や会社の登記、ホームページ作成まで、会社に必要なものなら何でもそろそろ「オフィス用品の総合商社」として、代表の井上さんが日々奔走しています。アスクルやSmartOfficeなどカタログ通販の代理店業務も行っていますが、同店ではあくまで「人とのつながり」を大事にし、お客様のものには必ず足を運ぶよう心がけているそう。長年培ってきた文具の知識を惜しみなく提供したいというのが同社の理念。経費削減も提案します。お気軽にご相談ください！



有限会社武蔵野園（釣り堀・食堂）

代表取締役 青木龍雄 大宮2-22-3 電話:3312-2723 和田堀公園内に古くからある釣り堀と食堂。ノスタルジックな魅力を放つ園内にはテレビの取材やロケも多く、食堂の壁には有名人のサインがズラリ。釣り堀には鯉とフナが泳ぎ、初心者から常連客まで楽しめます。地下140mから汲み上げた井戸水を使っているため、水がきれい魚の状態も良いのだとか。都会の喧騒を忘れ、心地よい水音と生き物に触れる癒しを味わってみては。食堂には定食、つまみ、アルコール類もあり。オムライス、焼うどん、タンメンが人気です。天気の良い日はテラス席で寛ぐのもおすすめ。火曜定休。



有限会社川名肉店（精肉・弁当販売）

代表取締役 川名海男 成田東1-38-9 電話:3312-3868 五日市街道沿い、東田町バス通り商店会にある店舗では精肉と手作り弁当、総菜を販売するほか、弁当と総菜は杉並区役所や区外の官公庁・企業でも販売。毎朝3時から仕込みを始め、800から1,000食分も作るのだとか。秋田の八郎湯から取り寄せたこだわりのお米を使用し、ヘルシーな雑穀米は女性に人気です。お肉屋さんならではの質の良い国産肉使用の弁当はもちろん、魚メニューもあり。毎日30種類ほど用意され、日替わり弁当もあるので飽きません。副菜もすべて手作りで野菜も豊富、愛情と栄養満点、これで500円からというのはお得です！



濱海苔店（海苔・お茶販売）

代表 濱秀人 和田2-44-12 電話:3333-381-8060 FAX:3381-8061 <http://www.hamanori.com/> 戦前より創業。東京オリンピックの年に和田商店会内の同地に移転し、海苔とお茶を販売してきた老舗店。同じ海苔でも産地によって味の特徴が異なりますが、ご主人のこだわりとお客様の声をもとに、同店では佐賀県産の海苔を主に扱っています。特に一帖500円以上の上物はすべて佐賀産で統一しているそう。お茶は同じ価格帯で様々な産地の茶葉を仕入れることで、基本的に忠実な品ぞろえを心掛けています。商品知識やおいしい食べ方、淹れ方など、お気軽にお尋ねください。急須や湯呑もあり。ホームページ、電話、ファックスにて通販も承っています。

